

令和3年度

事業報告書

特定非営利活動法人 動物解放団体リブ

1 事業の成果

年度前半は、書籍「イルカ・クジラ解放」のため和歌山県太地町での現地調査を中心に、以降は執筆を中心に事業を行なった。動物園水族館に関しては、動物の怪我や死亡が続き、適宜現地調査と働きかけ、発信を行なった。競馬、リーフレットの作成、動物園水族館調査のワークショップは手が回らず行えなかった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 2,078 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
動物利用に関する、調査・研究事業	①動物園水族館調査:動物の死亡や、新規導入など、動物園水族館に問題があった場合、適宜調査を行う。	通年	オンライン/動物園	職員1名 / ボランティア2名	動物園水族館の動物に関心がある人	10,000名	80
	②競馬調査:重要なレースや地方競馬等に行き、基礎的なデータ収集のための調査を行う。	実施しなかった					
	③畜産調査:畜産関係の施設や事業体へ赴き、基礎的なデータ収集のための調査を行う。	通年	オンライン	職員1名	畜産動物に関心がある人	6,000名	100
	④イルカ漁調査:書籍「イルカ・クジラ解放」のための取材・調査	1/1~5/8	和歌山県太地町	職員1名	イルカ漁に関心がある人	8,000名	600
動物利用に関するデータの収集分析公開を行う、データベース事業	動物園水族館調査で収集したデータを整理・分析し、ウェブサイトで公開する。	通年	オンライン	職員1名 / ボランティア1名	動物解放に関心がある人	10,000名	40
動物利用問題、動物と人間の共生社会の提案に関する、啓発事業	①ウェブサイト・SNS・書籍等を通じて、動物の現状を伝える啓発活動を行う	通年	オンライン	職員1名 / ボランティア1名	動物解放に関心がある人	10,000名	280
	②動物解放に関する講演会。各地の支援者と共に講演会を企画、実行する。	年5回	日本各地	職員1名	動物解放に関心がある・知りたい人	140名	250

	③リーフレット作成:動物園水族館問題の啓発リーフレットを作成。	実施しなかった					
	④啓発を目的とした物販により、動物解放に関する啓蒙啓発を行う。	実施しなかった					
	⑤書籍「イルカ・クジラ解放」執筆	通年	東京	職員1名	イルカ漁、捕鯨、水族館に関心がある人	12,000名	662
動物解放活動及び非営利事業を行う個人・団体への、支援事業	動物園水族館調査ワークショップ。調査の技術を伝えるワークショップを行う。	実施しなかった					
動物と人との共生社会構築のための事業	動物が解放された社会について熟議する会を開催する。	年2回	オンライン	職員1名	動物解放が達成した後の社会を考えたい人	2名	10
その他目的を達成するために必要な事業	勉強会:動物解放に関する勉強会	年1回	オンライン	職員1名	動物と人との共生社会を作りたい人	60名	56

令和3年度 活動計算書(その他事業がない場合)

特定非営利活動法人 動物解放団体リブ

(単位:円)

科目	金額	小計・合計
【A】 経常収益		
1 受取会費		120,000
正会員受取会費	120,000	
2 受取寄附金		2,099,606
マンスリーサポーター	1,327,286	
個人寄附	772,320	
3 受取助成金等		58,634
民間助成金	58,634	
4 事業収益		0
5 その他の収益		185,765
雑収益	185,690	
受取利息	75	
経常収益計		2,464,005
【B】 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		964,233
給料手当	832,000	
法定福利費	132,233	
(2) その他経費		1,114,354
取材費	14,000	
謝金	30,694	
印刷製本費	44,453	
旅費交通費	57,120	
車両費	281,710	
通信運搬費	188,404	
消耗品費	14,099	
水道光熱費	53,528	
地代家賃	150,000	
諸会費	4,000	
租税公課	100	
支払手数料	55,137	
新聞図書費	30,443	
雑費	12,000	
減価償却費	178,666	
事業費計		2,078,587
2 管理費		
(1) 人件費		150,675
給料手当	128,000	
法定福利費	22,675	
(2) その他経費		335,700
印刷製本費	510	
車両費	85,615	
通信運搬費	3,430	
消耗品費	32,646	
賃借料	29,800	
諸会費	2,000	
租税公課	9,450	
研修費	33,000	
支払手数料	93,764	
新聞図書費	818	
減価償却費	44,667	
管理費計		486,375
経常費用計		2,564,962
当期経常増減額【A】-【B】・・・①		(100,957)
【C】 経常外収益		
経常外収益計		0
【D】 経常外費用		
経常外費用計		0
当期経常外増減額【C】-【D】・・・②		0
税引前当期正味財産増減額①+②・・・③		(100,957)
法人税、住民税及び事業税・・・④		0
前期繰越正味財産額・・・⑤		1,372,106
次期繰越正味財産額③-④+⑤		1,271,149

令和3年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 動物解放団体リブ

(単位:円)

科目	金額	小計・合計
【A】 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	1,278,269	
立替金	32,620	
流動資産合計・・・①		1,310,889
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		
車両運搬具	44,667	
工具器具備品	239,800	
固定資産合計・・・②		284,467
【A】 資産合計 ①+②		1,595,356
【B-1】 負債の部		
1 流動負債		
未払金	324,207	
流動負債合計・・・③		324,207
2 固定負債		
固定負債合計・・・④		0
負債合計 ③+④		324,207
【B-2】 正味財産の部		
前期繰越正味財産額		1,372,106
当期正味財産増減額		-100,957
正味財産合計		1,271,149
【B】 負債及び正味財産合計 【B-1】 + 【B-2】		1,595,356

令和3年度 計算書類の注記

事業報告用

特定非営利活動法人 動物解放団体リブ

1. 重要な会計方針
計算書類の作成は、NPO法人会計基準によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産の減価償却は定率法によっています。

(2) 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は、税込方式によっています。

2. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産					
車両運搬具		268,000	(223,333)	(223,333)	44,667
工具器具備品		239,800	0	0	239,800
.....					
合計		507,800	(223,333)	(223,333)	284,467

3. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項
- 事業費と管理費の按分方法
事業費と管理費に共通する経費は従事割合に基づき按分しています。

令和3年度 財産目録

特定非営利活動法人 動物解放団体リブ

(単位：円)

科目	金額	小計	合計
【A】 資産の部			
1 流動資産			
現金預金		1,278,269	
手許現金	196,734		
ゆうちょ銀行普通預金	525,662		
楽天銀行普通預金	171,289		
楽天銀行法人ビジネス口座預金	384,584		
立替金		32,620	
流動資産合計・・・①			1,310,889
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
車両運搬具			
乗用車		44,667	
什器備品			
パソコン		239,800	
固定資産合計・・・②			284,467
【A】 資産合計 ①+②			1,595,356
【B-1】 負債の部			
1 流動負債			
未払金		324,207	
流動負債合計・・・③			324,207
2 固定負債			
固定負債合計・・・④			0
【B-1】 負債合計 ③+④			324,207
【B-2】 正味財産合計 【A】 - 【B-1】			1,271,149